

2024年7月24日

ICA ジョージア・ファミリーそしてコミュニティーの皆様へ

ICA ジョージア理事会及びアドミニストレーション一同、の新学年度（2024-2025 年度）のスタートを迎えることを嬉しく思い、今学年度の多くの成功をこの学年度を誇りに思います。

中学校の新設について：ICA ジョージアは、ジョージア州より、2024-2025 学年度から中学校新設の承認を受けました。児童は、中学生になっても引き続き両言語のスキルを向上することができることになりました。

ミュージック・プログラムについて：ICA ジョージアのミュージック・プログラムは、中学校の学年向けとしてコーラスや様々な音楽のジャンルの幅を広げます。将来的には楽器を使うミュージック・プログラムとして更に幅を広げます。

アカデミックの成功と多様性：ICA ジョージアは、ジョージア州で最も高い割合の ESL 児童（35%）が通う学校です。日本語と英語のデュアル・イマージョン・スクールとして、日本語とその文化を広める学校としてグローバルレベルで評価されています。当校の多様なコミュニティーには、25 カ国以上からのアジア系児童とファミリーがいます。以下、当校が収めている成果をいくつかご紹介します。

- iReady ベンチマーク・アセスメント及び GMAS（ジョージア州マイルストーン・アセスメント・システム）スコアの一貫した向上、ジョージア州教育省の評価と比較すると 91.4%の習得率を得ました。多くの児童が GMAS の算数科目にて「アドバンス」または「ディスティングイッシュ」レベルを達成しており、これは独自の日本数学教材のおかげです。
- 教職員の求人について、全てレベルの高い教職員を雇用達成しました。
- ダンス・プログラム、チェス・プログラム、空手プログラムを含むレベルの高いアフター・スクール・ケア・プログラムを構築し、更なる学習機会を提供する予定です。
- 州とのチャーター契約に基づいたリスニングとヒアリングの日本語習得の達成、レベルの高い日本語と英語のカリキュラムを導入しています。
- 児童の学業成績を向上させるための教員研修を促し、教員の教育指導を高めています。
- 餅つき、書初め、ヒスパニック週間、ブラック・ヒストリー月間、そして「カルチャー・アラウンド・ザ・ワールド」イベント・プログラムなど、毎年独自のグローバル・イベントを開催しています。

ICA ジョージア・コミュニティー・アクティビティー及びサービス：ICA ジョージアの PTO は、児童アクティビティーや学校全体のフィールド・トリップに貢献し、思いやりのあるコミュニティーの雰囲気を育てています。昨学年度、ICA ジョージアの児童とファミリーはコミュニティー・サービス学習

プロジェクトに参加し、スチューデント・リーダーシップ・チームはリーダーシップと寄付の重要性についてのクラスを受けました。当校のファンレイジング・イベントである「ダイニング・ウィズ・ザ・スカーラーズ、DWTs」は児童を称えるイベントでもあり、大成功を収めました。ICA ジョージアがコミュニティ・サービスの6周年を祝う中で、アトランタ総領事前田未央氏及び日本領事館からの支援に感謝しています。引き続き、ジョージア日米協会、ジョージア日本商工会、そしてジャパンフェスト・アトランタと協力し、日本文化プログラムを実施しています。

ICA ジョージアの財政力と安定性を維持するため、不景気などの不測の事態に対処できるよう、十分な柔軟性を保つよう努めています。当校の収入源は、学校運営資金（QBE）、連邦政府の助成金・プログラム支援金、寄付金の3つがあります。

2024年度のQBE州資金（児童数及び教員の資格と経験に基づく）は3,100,856ドルを受領し、ICA ジョージアの全収入の87%を占めました。年度中間調整のため、QBEが州政府により増額され、当校は426,000ドルの一般会計黒字を実現することができました。そこで、当校は2025年度引き続き勤務をする全教職員に対し、グイネット・カウンティの給与と当校のギャップをボーナスとして提供することができました。

タイトルワン、タイトルツー、タイトルフォー、スペシャル・エジュケーションなどの連邦資金は、ICA ジョージアの全収入7.3%を占め、資格のあるファミリー数に基づき配分されています。

2023年9月、ICA ジョージアはジョージア州チャーター・スクール・ファウンデーション（SCSF）から、2024年9月までの拡張コホート・プログラムを授与しました。このプログラムは、既存のチャーター・スクールの拡張（学年レベルの追加）を支援するためのプログラムです。第1段階では、学校リーダーがこのプログラムから提供されているコンサルタントと共に戦略会議を重ねました。この段階は、中学校の計画とカリキュラムなどの契約や財務計画するのに大変役立ちました。現在、この計画を実行するために、テクニカルな支援を受けています。

2024年7月、ICA ジョージアは、チャーター・スクールの拡張CSP助成金に応募しました。この助成金は、36カ月の期間にわたる500,000ドルの助成金です。当校は、2024年2月28日にジョージア州チャーター・スクール委員会（SCSC）により中学校の拡張が承認されたため、応募資格があります。この助成金は、ジョージア州チャーター・スクールを育むイニシアティブの一環です。CSP助成金は、追加のカリキュラム教材などの購入に役立ちます。

ICA ジョージアの総収入の1.6%は、保護者、理事会員及びコミュニティの支援者からの寄付です（FY23では2%）。学校の絶え間ないファンレイジングにより、2023-2024学年度中に約56,500ドルの寄付金が集まり、目標の75,000ドルには僅か及びませんでした。ギビング・チューズデー、ウィンター・コンサート、そして、ダイニング・ウィズ・ザ・スカーラーズなどのファンレイジング・イベントは、学校への財政支援を得るのに役立ちました。

州からのQBE資金、州チャータースクール助成金プログラム、連邦政府からの助成金は、“基礎”教育費として割り当てられるものです。質の高い教育そして質の高い日英教材を購入し、質の高い教育を提供し、ベストな学業の成功へと導くためには、ファミリーのみならず地元サポーターからの寄付金により可能となります。中学校拡張を実行するなかで、『ICA ジョージア年間パートナー・スポンサーシップ』プログラムを正式に導入いたします。プログラムの詳細は、別途資料をご参照ください。このプログラム導入により、私たちの資金調達目標である75,000ドルを上回ることができると確信しています。

これまでのご支援に感謝するとともに、今年も引き続きご支援いただけることに感謝いたします。また、できるだけ多くの「パートナーズポンサー」にご協力いただけるよう、ぜひお勤め先、ご家族、お知り合いに内容を広めてください。（<https://www.mightycause.com/donate/lcageorgia> からいつでもご寄付いただけます。）

この場をお借りして、ICA ジョージア理事会一同を代表し、当校コミュニティー皆様の素晴らしいご支援に心より感謝申し上げます。イッショニ・ガンバリマショウ！

どうぞよろしく願いいたします。

ICA ジョージア理事会一同より